



Dai I NAIKA News

三重大学病院

循環器内科、腎臓内科
季刊紙【第30号】

令和7年6月5日

発行/三重大学大学院医学系研究科

循環器・腎臓内科学

〒514-8507 津市江戸橋 2-174

TEL 059-231-5015 FAX 059-231-5201

<https://www.sv.hosp.mie-u.ac.jp/naika1/>

ご挨拶



循環器・腎臓内科学
教授 土肥 薫

皆さまにはお健やかにお過ごしのことと存じます。2020年7月に循環器・腎臓内科学の教授に就任してから、早くも5年が経過しようとしております。コロナ禍を経て、医療DXの加速や働き方改革など、大きな社会環境の変化に対応しながら、医局員の教育・研究体制の強化に努めてまいりました。この5年間で新たに46名の先生方にご入局いただき、医局は一層活

気に満ちた組織へと成長しております。

循環器領域では、栗田泰郎先生を中心とした冠動脈治療、香川芳彦先生を中心とした不整脈治療のさらなる充実に加え、経カテーテル大動脈弁治療（TAVI）、僧帽弁クリップ術、卵円孔開存（PFO）閉鎖術、左心耳閉鎖術、慢性肺血栓塞栓症に対するバルーン肺動脈形成術（BPA）など、多様なカテーテル治療を実施しております。三尖弁クリップ術についても、近い将来の導入を予定しております。重症心不全や重症心筋梗塞に対する治療では、県内外から多くの患者さまを受け入れ、非常に良好な成績を挙げております。また、森脇啓至先生を中心に、補助人工心臓（VAD）管理施設として、植込み後の患者フォローアップにも力を注いでいます。肺循環領域では、荻原義人先生、そして本年度から三重県に戻られた辻明宏先生を中心に、静脈血栓症治療用デバイスの導入も予定されており、今後の展開が期待されます。腫瘍循環器領域では、本年度より当講座の特任教授に就任され

た今中恭子先生、ならびに分子生理学教授の坂東泰子先生のご指導のもと、中森史朗先生が中心となって臨床・研究の両面において活動を拡充しております。また、岡本隆二先生を中心に、心筋症およびゲノム診療体制の強化も進められています。医療DXの分野では、藤本直紀先生と伊藤弘将先生を中心に、心不全管理アプリ「ハートサイン」の開発と臨床研究がAMED事業として進行中です。三重ACSレジストリ研究では、関連病院の先生方のご尽力により、2025年度中には登録症例数が1万例を超える見込みです。今後も数多くのエビデンスを論文化し、地域医療のさらなる発展に貢献してまいります。

腎臓内科領域では、片山鑑先生を中心に、慢性糸球体腎炎に対する先進的な研究が展開され、博士号取得者も着実に増加しております。臨床面では、片山先生と村田智博先生を中心に、慢性腎臓病（CKD）の進行抑制に注力しております。進行期のCKD患者に対しては、移植コーディネーター・看護師・臨床工学技師などの医療スタッフと連携し、腎移植・腹膜透析・血液透析の3つの腎代替療法について、療法選択外来で丁寧にご説明しております。特に、生体腎移植や腹膜透析の普及に力を入れている点は大きな特徴です。また、CKDの普及・啓発活動として、CKDシールの活用や県民公開講座の開催など、地域に根差した取り組みも継続しております。

同門の先生方におかれましては、日頃より格別のご支援をいただいておりますことに、心より御礼申し上げます。今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

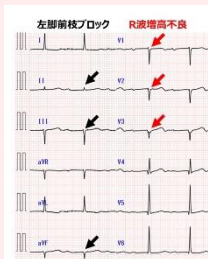
ワンポイントレクチャー ～心臓アミロイドーシス～



循環器・腎臓内科学
准教授 藤本 直紀

心臓アミロイドーシスは、肝臓で産生されるトランスサイレチン（TTR）が原因となるATTR型（かつての老人性アミロイドーシス）と、免疫グロブリン軽鎖が関与するAL型に大別されます。近年、TTR四量体の安定化を図るタファミジスが保険適用となり、アミロイド沈着の進行を抑制できるようになりました。三重県内でもこれまでに約60名の患者さんがこの治療を受けています。さらに、新規薬剤も登場し、治療選択肢の幅が広がりつつあります。診断までに長期間を要する例も少なくありませんが、Red flagとして、原因不明の左室肥大、駆出率が保たれた心不全（HFpEF）、伝導障害、徐脈、手根管症候群、脊柱管狭窄症の既往などが挙げられます。

特に高齢者でこれらが認められる心不全の場合、本疾患を念頭に置くことが重要です。疑わしい症例があれば、ぜひ三重大学病院の循環器内科へご紹介ください。



新任 医師紹介



循環器内科



医員 廣田 有美

平成 30 年卒、廣田有美と申します。卒後 5 年三重大で勤務し、2 年間市中病院での研修を経て本年 4 月より再度三重大で勤務させていただいております。心停止蘇生後・デバイス治療・遺伝子治療に強く興味をもち、不整脈分野で尽力したいと考えます。



医員 大泉 博暉

2021 年に三重大を卒業しました大泉博暉と申します。初期研修 2 年、後期研修 2 年を三重県立総合医療センターで行い、今年度より三重大大学病院に赴任することとなりました。至らぬ点多々あるとは思いますが、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



医員 大内 亮介

令和 3 年卒の大内亮介と申します。桑名市総合医療センターで 4 年間勤務し今年度より三重大大学医学部附属病院でお世話になります。患者さん一人ひとりに寄り添った医療を行えるよう精進していく所存です。何卒よろしくお願いいたします。



医員 喜多田 昂祐

令和 7 年 4 月 1 日付で三重大大学病院でお世話になります。専攻医の喜多田昂祐と申します。鈴鹿中央総合病院で初期研修、2 年間の後期研修を行いました。至らぬ点多々あるかと存じますがご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



医員 竹野 成太郎

三重大大学医学部卒の竹野成太郎と申します。三重大大学卒業後は鈴鹿回生病院で勤務をし、2025 年 4 月より三重大大学医学部附属病院に勤務しております。大学病院では様々な循環器内科疾患を勉強させていただく所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



医員 藤岡 和輝

令和 3 年卒の藤岡 和輝と申します。三重県津市で生まれ育ち、三重大大学医学部を卒業後、松阪中央総合病院での研修を経て、5 年目を迎える 2025 年 4 月より三重大大学医学部附属病院に赴任させていただくことになりました。市中病院で経験できない治療や、高水準の診療に参加できることを嬉しく思います。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



腎臓内科



医員 大植 優里

2020 年卒の大植優里と申します。卒業後は鈴鹿中央総合病院での勤務を経て、2025 年 4 月より三重大大学医学部附属病院で勤務させていただいております。皆さまのお力になれますよう日々、精進して参ります。



医員 松井 勇人

令和 3 年卒の松井勇人と申します。卒業後は済生会松阪総合病院で 4 年間勤務した後、令和 7 年度より三重大大学病院で勤務させていただくこととなりました。まだまだ至らぬ点多いかと思いますが、どうかよろしくお願いいたします。



医員 山川 真由子

令和 3 年卒の山川 真由子と申します。卒業後、三重県立総合医療センター、桑名市総合医療センターで研修し、令和 7 年 4 月より三重大大学医学部附属病院で勤務させていただいております。患者様に寄り添ったより良い医療を提供できるよう精進してまいります。今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。



医員 川村 直大

2022 年北里大学卒業の川村直大と申します。初期研修 2 年と後期研修 1 年を北里大学病院で研修し、2024 年度より三重大大学附属病院で研修させていただいております。腎臓内科医として皆様に貢献できるよう誠心誠意努めてまいりますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

三重大学病院循環器内科、腎臓内科

～患者様をご紹介します～

1. FAX 新患予約

「診療予約申込書」「診療情報提供書」を FAX：059-231-5541 へお送りください。

※「診療予約申込書」は三重大学医学部附属病ホームページ <http://www.hosp.mie-u.ac.jp> の「医療機関の方へ」からダウンロード可です。



診療予約申込書をFAX →

← 診療予約票をFAX

三重大学病院 総合サポートセンター
※医療機関の方専用

FAX 059-231-5541

TEL 059-231-5552



2. 緊急受診、ご相談等

循環器、腎臓内科救急ホットラインへお電話下さい。病棟医長が直接対応させていただきます。

		月	火	水	木	金
循環器	初診	土肥 薫 伊藤正明 栗田泰郎	藤本直紀 原田慎一	岡本隆二 香川芳彦	杉浦英美喜 北野哲司 腫瘍循環器外来 (坂東泰子)	荻原義人 市川瑞貴 腫瘍循環器外来 (坂東泰子)
	再診	伊藤正明 栗田泰郎 森脇啓至 岡本隆二 大森 拓 高崎亮宏 藤本直紀 石山将希 ハ°-スメーカー-外来	荻原義人 土肥 薫 中森史朗 原田慎一	岡本隆二 香川芳彦	杉浦英美喜 北野哲司 山下大輝 桐井陽祐 腫瘍循環器外来 (坂東泰子)	荻原義人 中森史朗 佐藤 徹 香川芳彦 水谷花菜
腎臓	初診	齋木良介	村田智博	山脇正裕	片山 鑑	森睦貴
	再診	片山 鑑	山脇正裕	齋木良介 山脇正裕	休 診	村田智博 森睦貴

循環器内科、腎臓内科救急ホットライン



三重大学病院循環器内科、腎臓内科連絡先(直通)

内科外来：059-231-5146

病 棟：059-231-5101

F A X：059-231-5518

研 究 棟：059-231-5015

患者様の紹介、相談にご活用ください。

季刊誌に関するご意見、ご質問は下記メールアドレス、または当科 HP まで。

naika1@med.mie-u.ac.jp

心不全管理アプリ「ハートサイン」のご案内

・ハートサインとは

日々の体重や血圧、症状などを記録する心不全管理のためのアプリです。
従来の心不全手帳と異なり、「アラート」機能が搭載されております。



・アラートとは

入力された生体情報、症状を元に心不全増悪のアラートを出し、早期受診を促します。



- ・「アラート」により患者様が受診された際は心不全増悪を念頭に**通常通りの診療**をお願いします。必要に応じて高次医療機関への紹介をご検討ください。
- ・大学病院と県下の関連病院で臨床研究（ハートサイン vs. 心不全手帳）を進めております。



ハートサイン事務局（平日9時～16時）
TEL：059 - 232 - 1111（代）
ハートサインHP：<https://heart-sign.jp>

連絡先
三重大学医学部大学院 循環器腎臓内科学
森洋樹